

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 23-20
補助事業名 平成23年度 航空機工業の標準化対応に関する調査研究等 補助事業
補助事業者名 一般社団法人 日本航空宇宙工業会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

航空機分野における騒音、排出物、燃費に対する規制強化に対応するための標準化が国際的に進んでいる現状において、我が国の航空機分野の国際競争力強化を図るための調査研究等を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

具体的には、国連機関であるICAO（International Civil Aviation Organization）の下のCAEP（航空環境保全委員会）において、航空機からの排出物（窒素酸化物、粒状物質）や航空機騒音に関する規制の検討・策定が行われているが、2013年開催のCAEP9を目途の新たなCO2排出基準の設定の取組みに対して、当工業会所属のそれぞれの専門家が参画し、国際的な基準の設定に貢献する。

(2) 実施内容

① 国際会議への参画

平成23年5月3-6日	ボンの小委員会に参加
5月23-27日	ジュネーブの小委員会に参加
7月18-22日	米国ハーツフォードの小委員会に参加
9月12-16日	北京 Steering Group Meeting に参加
11月7-11日	ロンドンの小委員会に参加
平成24年1月23-25日	米国ジョージア工科大学での作業部会に参加
2月13-17日	米国アリゾナ州フェニックスの小委員会に参加
3月21-23日	ジュネーブで開催された航空環境会議2012に参加

② SJAC委員会等の開催

平成23年6月27日	SJAC 平成23年度第一回CO2削減検討分科会開催
12月10日	SJAC会報 「航空と宇宙」に掲載（一般への周知） 「ICAO CAEP2011年ステアリンググループ会議に参加して」
12月21日	SJAC 平成23年度第二回CO2削減検討分科会開催（CAEP委員会も同時開催）



国際会議



当会委員会

2 予想される事業実施効果

CO2排出基準の検討活動に継続して参画し、国際的な合意形成まであと一步の段階まで進めることができている。また、今後さらに強化される航空機騒音、窒素酸化物、および粒状物質への検討にも参画し、広く情報提供している。この事業による実施効果としては、2013年2月にモントリオールで開催されるCAEP9にて各国代表によって決定されるCO2排出基準の設定の活動に参画する等により、国際的な基準の設定に貢献する事が期待される。

3 本事業により作成した印刷物等

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社団法人 ^{にほんこうくううちゅうこうぎょうかい} 日本航空宇宙工業会 (フリガナ)

住所： 〒107-0052 (半角)

東京都港区赤坂1丁目1番14号

代表者： 会長 ^{つくだ かずお} 佃 和夫 (フリガナ)

担当部署： ^{そうむぶ} 総務部 (フリガナ)

担当者名： ^{しおざわ たかじ} 塩澤 隆司 (フリガナ)

電話番号： 03-3585-0511

F A X : 03-3585-0541

E-mail : shiozawa@sjac.or.jp

URL : <http://www.sjac.or.jp> (補助事業者HPのトップページのURL)